



精神科看護管理ニュース

Vol. **130**

発行 日本精神科看護協会

2025/07/02

1 日精看オンラインに「行動制限最小化プラットフォーム」を開設しました。

行動制限最小化プラットフォーム（Platform for Minimizing Seclusion and Restraint: PMSR）は、精神科病院の隔離や身体的拘束を最小化するために必要な、基本となる考え方や知識、取組事例に関する情報を提供するために、令和5年～6年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）「精神科医療機関における行動制限最小化の普及に資する研究」によって作成されました。

本プラットフォームの活用法等については、この行動制限最小化プラットフォーム活用ガイドを参考にいただきながら、研修教材や取組事例のページをご覧ください。



タイトル	カテゴリー	テーマ	ファイル形式
行動制限最小化のための研修シリーズ①	基礎編 Basic	行動制限最小化に必要な法令知識	PDF 音声付き スライド
行動制限最小化のための研修シリーズ②	理論編 Paradigm	トラウマインフォームドケア リカバリー	PDF 動画
行動制限最小化のための研修シリーズ③	方眼編 Strategy	コア・ストラテジーを学ぶ	PDF 音声付き スライド
行動制限最小化のための研修シリーズ④	実践編 Practical	ディエスカレーション 代替方法	PDF 音声付き スライド
取組み事例の紹介	事例編 Cases	行動制限最小化のための看護ケアの視点	WEB記事

- ※ 日精看オンライン「精神科看護のプラットフォーム」に掲載しています <https://jpna.jp/pmsr/hajimeni>
- ※ 行動制限最小化プラットフォーム活用法 https://jpna.jp/cms/wp-content/uploads/2025/05/pmsr_katsuyo.mp4

2 行動制限最小化に向けた研修の効果に関する研究協力施設を募集します

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所が研究協力施設を募集しています。上記のプラットフォームに掲載されている教材を、ご自身の病院の課題にあわせて選択いただき、教材を用いた研修会を実施し、職員および患者様にアンケートを行うといったものです。皆さまの自施設の教育の一助として本研究調査にご協力いただけますと幸いです。

Mail: miyakem@ncnp.go.jp
TEL : 042-341-2712(内線 : 6212)



担当：三宅美智 奈良麻結
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

厚生労働科学研究 2025 締切：2025年7月18日（金）
*医療専門職の対象人数が1,000人に達し次第締切

研究協力施設 募集中！

行動制限最小化に興味があると思われる医療機関の皆様の応募をお待ちしております。
行動制限最小化プラットフォームを用いた研修の効果に関する検討

この研究では、行動制限最小化プラットフォームに提供された教材を使用した研修の実施が、精神科病院で実施される「隔離や身体的拘束」、勤務する「医療専門職」、入院する「患者」にどのような影響を及ぼすのかを検討するものです。

ご協力いただく内容

- 9月 自院の課題に合わせて教材を選択し、医療専門職と選抜患者を対象としたアンケート調査
- 10月 選択した教材を用いて研修実施
- 11月 医療専門職と選抜患者を対象としたアンケート調査
- 2月 医療専門職を対象としたアンケート調査

*施設管理者の方には、施設の基本情報と行動制限データのご提出もお願いいたします。

教材の内容

- ① 行動制限最小化に必要な法令知識
- ② データでみる行動制限
- ③ トラウマインフォームドケア
- ④ リカバリー
- ⑤ コア・ストラテジーを学ぶ
- ⑥ ディエスカレーション
- ⑦ 代替方法
- ⑧ 取組事例（Web記事形式）

対象となる病棟

精神科病院に設置されており、研究参加に応募時点で隔離や身体的拘束の実績がある病棟

謝礼について

医療専門職：Q10カード1,000円分（3回のアンケート調査へのご協力）
選抜患者：Q10カード500円分

- 本ニュースは、配信を希望された日精看会員の方にメールかFAXでお送りしています
- 本ニュースのPDFは日精看ホームページ「看護管理者の部屋」でダウンロードできます
- 配信の中止、配信先の変更は、日精看事務局までお知らせください
- 日精看事務局 〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F tel 03-5796-7033 fax 03-5796-7034